

共和時報

沿岸及日と

實際問題

●部沿岸の村日系人感情は新軍の上昇と相俟つて居る予口行爲程熾烈ではなれど、テソクワウツク氏は遊べ更らWR月後人の首を引出し、民土々義挑戦に言及した。定任問題に付ては沿岸には公認と合法的に日系人販運を防止せんと計画する排日因り憂心に沈黙して居るがWR及FBトに依り最重に監視せらるゝある。

荷送物と積荷証

●荷送物と積荷証
●荷送物と積荷証
●荷送物と積荷証

あつた

●荷送物と積荷証に際して、積荷証を紛失した一同胞は加州で廿七年の運賃を支拂はせられ、かかる不祥事を防ぐ爲積荷証は絶対な紛失しぬを注意せられ、しなほ横に於て載きたしと。

一毒と登録証

●一毒と登録証
●一毒と登録証

マツトウインクスの

羅府記事

●マツトウインクスの羅府記事
●マツトウインクスの羅府記事

解散閉店大賣出し

●解散閉店大賣出し
●解散閉店大賣出し

●解散閉店大賣出し
●解散閉店大賣出し

戦後の苦境に立つ二毒兵

除隊優先権を主張するG-I

●戦後の苦境に立つ二毒兵
●除隊優先権を主張するG-I

紐育州居住一毒

土地所有権を有す

●紐育州居住一毒
●土地所有権を有す

加州行きの車窓

この秋

●加州行きの車窓
●この秋

マーサグラハム劇團の ピカ一ニ表 兩宮百合子

芸術の世界には比較的
に稀見の存在がよい味
に希少な故には多数の
一二の芸術家が腕を振
つてゐる。

獨居及び衣飾座新曲身
の舞踊を面白合子娘
も組育て私をなしたこ
ろの一人は彼女が若一
もとト湖ベニコトリン
大星は枚斤と四週間の
リテイタルを了へて組
育事んたつてマーサグ
ラハム舞踊技師を組育
の別舞踊團に教授して
居る。

組育に於ける秋の興行
加清りや者娘女はクラ
ハム劇團と考へて岸に
行き飛府藤島沙市等々
どの美技を公開する筈
である彼女に感奮を尋
ねると、私は組育に永住
するつもりだが今度の
興行では足能加州へ行

つて見たいと思ふ。こ
れ加州の稀見歌道に二
人は東都と因縁西部に
於ても如何なる世界へ
も進出せよと言ふ事
を見せようやうだも軍
息がよい。

野沢有氏一家

希望に燃えて
朗報より聖路男へ
前途登落易然法支而は
須甲の身苦難知公共
の為身勉努力を續け
た野沢有氏の同地戦往
振りを夫味添く報道し
てゐる。

七月七日野沢氏は高業
珠にドライクニンガの
方面を主として視察の
為来朝した地才戦往奉
真念は百方を盡して

輪旋の骨を抜つた結果
目的のドライクリーニ
シテ高業實の取り性電
も一野澤入する事に成
功した之は七月廿八日
の事で此迄遠征期始終
であつたのを永又生折
に變更した。

同附に八区に達して東
大棟夫人宛手紙をせし
猪機中の夫人は有聖八
才光三才美夢美三三の
三子を連ね八月七日末
布して此處に全家族の
再居住を免了した。

再居住を免了した。
撫育て氏の御建國を望
むと共に御多幸を祈り
や切。

海外出立候運兵団体
五十一支隊(スボルゲシ
が伊太利に運海せるぬ
若し若し下上等兵の入
隊を人種的見地より拒
絶した事に対し周囲体

本邦では深甚なるお説
を同一等兵に押し中し
送つて来た。
スボルゲシ陸隊兵エド
ワードザレウウ軍管
はバックスター衛戍病院
五百名の負傷兵よりな
る編見及討庄資金を組
織し兄の命長を精めく
居るが同地の編見に及
つて吾等の戦を續けて
来たが彼はぬ着上等兵
は全米海外出候運兵
団々埃埃ンアラナー氏
の署名入り謝罪状を受
取つたと発表した。

西行の途に沈む
平一色師
昨年六月位専ら来朝
以来献身的に所氏の建
康の爲努力された早ト
クスターは土曜朝故郷
フレスノ向ヶ候運の途
に沈んだ。

紙より調和の若様は
く水も空しく法へ
られたし。

視の面刺を見たくない
二母が坂山あるので
の視の行竹のな場合
加坂山ある又右本を言
か團を思ふ為に所し
ない若り坂山ある
虎に南アメリカンリバ
チースエニオンその地



今日の特題

米國自由擁護協會

マイヤー氏
よりの返書

我々が本年一月迄に全
米に於ける開銷しよう
する政策の裏にある人
道的感情に對して理解
を缺いて居る善意の人
々加坂山ある事は事實
である我々の考へて付
センターを永接すこと
言ふ事は立退者に取つ
て實に不親切な事であ
る。その軽信所を編接す
る様運動するの付團の
爲にも立退者の爲にも
よくない。

華府の新聞人、ワリ
ラウワの誤り依るとデ
ロンマイヤー氏は政府
より予案計上部の案
に招聘されたが之を断
わつたと云ふ。

その右のTY香露
前報初期のCA部員と
して活躍した者若森工
石口運兵に候選して同
地戦往者同に於ける社
交方面に努力して居る
が昨週土曜日才一合同
教会で飲睡パーティーを
持つたと位へらる。

団休加過去に於てよく
WR A支持をして吳水
たのだから軽信所若森
を字承すると云ふが如
き立退者の名にならぬ
事はしなれに、
五月十一日
華府便り

外部 定住欄

生産物商主配人
 ビツツバーブウイル
 キンズバーグ企業組合
 の生産物部の支配人と
 して石本茂氏は就任し
 此の任では將來性
 富み期待されて居る
 石本氏並に一家は現在
 同市ホステルに滞在
 中である。

ニギ理髮店

須市及沼知氏氏はリ
 初建りチヤード君は
 同市須古市で二三街
 一ノ街に理髮店を開業
 した。
 彼は始めミシガンに
 所敷ヶ月前シラゴに
 り直ちに州理髮料の試
 験を受け合格したも
 のである。沼知は母
 さんも近くリキート
 の許に赴き、
親睦会
 沼知出陣の三夜は

所以来久方ぶりに聖路
 魯市の野沢有氏宅に集
 まりパーティも持ち盛
 快な一夜を過ごした。
 三家は皆沼知出身者
 で野沢家の外にロー
 イの島布ギージ夫人及
 子持蓮トーレンス出身
 の川西夫人に丁度同市
 訪心中の島本夫人の文
 君美取寛喜氏も此のバ

野球界

スコアキーパー
 フレーヤーも熱心に遊
 んで呉れたあの若ハニ
 此の選手が勝つはずは
 止まない戦力を發揮
 して水の出る様は仕合
 を演ずるのを見ては涙
 ぐましの感激を覚えず
 は舌をのびやいばり
 日本人はと言ふ聲も

1. テーに出陣した。
聖路魯
 サンロレンゾ出身の母
 部光子はトラスより聖
 路魯に出所して沼知家
 身の叔母安徳さま及加
 藤こととの二女性の許に
 止宿してある。
 彼女口下下所浮期にそ
 なへ入嫁準備中である。
 市城古に往つて沢山
 地方戦時人力統制局長
 佐スヤンサーは同市テ
 ーリニーニユース八月廿

しい感に打たれるので
 ある。
 此の興味深い社会と感
 潤に遊ぶものはC.A. 休
 育部であつて其々は休
 育部交に厚く感謝す
 るのである。
 同時に何時も気持ちよく
 献身的に面会したスコア
 キーピンをあはして呉れ
 てある此の二人の娘さ
 んも我々は何時迄も忘
 れるべからぬものである。

日の休止にクワク及五
 パーの両郡にて三万六
 千八百の注がある由
 発表した。
組育の志者
 歓迎する牧師
 当地に廿年以内を大井
 アルバート牧師喜喜は
 毎土曜及金曜の時間は
 牧師局に詰め切りで何
 来者の応接に忙しとい
 送つてある。同氏日祭祭
 務局其の他に関係ある
 同地有りの者の一人であ

此の二人こそ日高ソリ
 住井アリと面識である
 C.A. 部交として全くの
 適任であり、沼知は
 熱心な性格の所有者で
 何事も気持よく世話し
 て呉れる。
 C.A. の名花沼知の以
 望である此の大和菓子
 に吾々は絶大の感謝を
 捧げると共に贈束の作
 多幸を仰に祈るもので
 ある。

転住し高貴アパート
 探して一投男
 カンサス市地方転住支
 局を得て今四回空アバ
 ートを二世兵士の家族
 の為輪施の宿をとつた
 須市出身で当市に居住
 する山城トキヨ夫人の
 家務不出で夫君ポール
 はミネソタ州シール附
 近の無償で訓練中であ
 るが九月早々一家をあ
 けて転住の由。

三カ谷君家を賣下
 須市及沼知よりカンサ
 ス市に定住した三カ谷
 フランク君は義園製作
 所に病入りて居たが最
 近七聖家庵を買つたと
 伝へらる。三カ谷夫人及
 子供と内訌は九月中旬
 本所アグネス街二六三
 七番の轉居に移る事
 あり。
男爵の新家庭
 岩滝茂平ト夫人並に
 デール君三子は内訌と

共岩滝ロバト氏が用意
 して置いた四室アパ
 ートに居住すべく八月十
 四日朝知を移す。
 ロバート君はカンサ
 市の國際製紙会社に働
 らいてあるが男爵の死
 名が知られて居る。
展覧会場
 朝知大展覽会場の病が
 出ま上つて居る故にC
 以上旺迄にまら小慮し
所内求人
 ホンパハウズで八人入
 用、8月7日の東京送

中川氏遺体法要
 元々ローム居住広島県
 安藝郡戸坂村出身中川
 正夫氏は松任先シッ
 ルフツ禮園に於て去
 七月廿三日死去され
 今同当地友人儀一
 氏再が發起となり昨夜
 (本誌七時半) 日佛教会
 にて早島南殿使用式
 下は七七忌主業、追悼
 会主催を故人知己の
 仲参詣を乞ふ。